

令和6年10月4日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



中越大震災から20年 次代につなぐ「歴史の記憶」について考える 第5回れきぶん講演会を開催します

長岡市歴史文書館は、中越大震災から20年を振り返り、次代につなぐ「歴史の記憶」について考える、第5回れきぶん講演会*を開催します。また、中越大震災の避難所資料など、これまでの歴史文書館の資料保全活動を振り返る関連展示も開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知・紹介に御協力いただくとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

第5回 れきぶん講演会

復興とは何か～中越の災害伝承の現場で考えたこと～

- 1 講師 筑波匡介（つくば・ただすけ）氏
福島県立博物館 学芸課 主任学芸員
- 2 日時 令和6年10月12日（土）午後2時～3時30分（開場午後1時30分）
- 3 会場 長岡市歴史文書館（長岡市長倉西町458-7）
- 4 定員 60人（先着）
- 5 申し込み 10月9日（水）までに長岡市歴史文書館へ来館または電話で
- 6 内容 中越大震災から20年を振り返り、次代につなぐ「歴史の記憶」について考えます

関連展示 長岡市災害復興文庫展「中越大震災20年と歴史文書館」

- 1 期間 令和6年10月8日（火）～11月16日（土）
- 2 会場 長岡市歴史文書館（長岡市長倉西町458-7）
- 3 内容 中越大震災の避難所資料や被災地域から救出した古文書などを展示し、歴史文書館が行ってきた20年間の資料保全活動を振り返ります

※ れきぶん講演会

最新の歴史研究や歴史文書館の活動の成果を紹介するため、定期的で開催する講演会。前回は7月に「古文書がもたらす未来への力」をテーマに開催。

問い合わせ：歴史文書館 広井
TEL 0258-36-7832

第5回 れきぶん講演会



復興とは何か

～中越と福島の大震災の現場で考えたこと～

中越大震災から20年を振り返り、次代につなぐ「歴史の記憶」について考えます

講師：筑波^{つくば}ただ^{ただ}すけ^{すけ}先生

福島県立博物館 学芸課 主任学芸員、ミュージアム・エデュケーター、防災教育コーディネーター。

東日本大震災を伝える博物館資料「震災遺産」の保全と活用に取り組み、震災遺産を活用した防災教育、小中高校、大学で授業提案などを行っている。中越大震災後に立ち上げられた公益社団法人中越防災安全推進機構では、中越メモリアル回廊の整備に取り組んでおり、その経験を参考として、福島県で防災教育を手段とした地域づくりを進めている。中越と福島での経験から、災害伝承の持続可能性の獲得や、博物館の地域復興への関り方などが現在の研究課題。

(猪苗代町社会福祉協議会地域づくりアドバイザー、磐梯山ジオパーク推進協議会運営委員など)

日時：令和6年10月12日（土）午後2時～3時30分

（開場午後1時30分）

会場：長岡市歴史文書館（長岡市長倉西町458-7）

電話 0258-36-7832

定員：60人（先着）

申し込み：10月9日（水）まで 長岡市歴史文書館へ来館または電話で

★関連展示 長岡市災害復興文庫展「中越大震災20年と歴史文書館」

会場：長岡市歴史文書館 10月8日（火）～11月16日（土）

中越大震災の避難所資料や被災地域から救出した古文書等を展示し、歴史文書館が行ってきた20年間の資料保全活動を振り返ります。

長岡市災害復興文庫展2024
中越大震災20年と歴史文書館

10月8日(火)～11月16日(土)

中越大震災の避難所資料や救出した古文書等を展示し、長岡市立中央図書館文書資料室、
そして歴史文書館の20年間の資料保全活動の歩みを振り返ります

2004



2024

会 場 長岡市歴史文書館 閲覧・展示室 入場無料

開館時間 午前9時～午後5時 休館日 日・月・祝日・年末年始
〒940-0849 長岡市長倉西町 458-7 0258-36-7832
https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=134



《関連イベント》

第5回 れきぶん講演会



復興とは何か

～中越と福島の大震災の現場で考えたこと～

中越大震災から20年を振り返り、次代につなぐ「歴史の記憶」について考えます

日時：令和6年10月12日（土）午後2時～3時30分（開場午後1時30分）

会場：長岡市歴史文書館 講座室（長岡市長倉西町458-7）

つくば ただすけ
講師：筑波 匡介 氏

福島県立博物館 学芸課 主任学芸員、ミュージアム・エデュケーター、防災教育コーディネーター。

東日本大震災を伝える博物館資料「震災遺産」の保全と活用に取り組み、震災遺産を活用した防災教育、小中高校、大学で授業提案などを行っている。中越大震災後に立ち上げられた公益社団法人中越防災安全推進機構では、中越メモリアル回廊の整備に取り組んでおり、その経験を参考として、福島県で防災教育を手段とした地域づくりを進めている。中越と福島での経験から、災害伝承の持続可能性の獲得や、博物館の地域復興への関り方などが現在の研究課題。

（猪苗代町社会福祉協議会地域づくりアドバイザー、磐梯山ジオパーク推進協議会運営委員など）

災害史ブックフェア 12月28日まで(在庫限り)

震災避難所の史料 新潟県中越地震・東日本大震災	定価 500円 →	100円
新潟県中越地震・東日本大震災と災害史研究・史料保存 －長岡市災害復興文庫を中心に－	定価 500円 →	100円
リレー講演会「災害史に学ぶ」記録誌	定価 1,000円 →	500円
長岡市史双書 No.48 新潟県中越大震災と資料保存(1) 長岡市立中央図書館文書資料室の試み	定価 1,500円 →	500円
長岡市史 通史編 下巻	定価 3,800円 →	500円
長岡市史 資料編 1、2、4、5	定価各3,800円 →	各500円
長岡市史研究 第3号～第7号	定価各1,000円 →	各100円
長岡市政100年のあゆみ	定価 2,500円 →	500円